

# 11月 ピッコロだより



## 【11月の活動】 丁寧なことばを使う／気持ちを切り替える方法を知る

月	火	水	木	金	土
	1 丁寧なことばを 使おう (丁寧なことば について知る)	2 丁寧なことばを 使おう (丁寧なことば について知る)	3 やす 休み (文化の日)	4 丁寧なことばを 使おう (丁寧なことば について知る)	5 丁寧なことばを 使おう (丁寧なことば について知る)
7 丁寧なことばを 使おう (丁寧なことば について知る)	8 丁寧なことばを 使おう (丁寧なことばを 使う練習)	9 丁寧なことばを 使おう (丁寧なことばを 使う練習)	10 丁寧なことばを 使おう (丁寧なことば について知る)	11 丁寧なことばを 使おう (丁寧なことばを 使う練習)	12 丁寧なことばを 使おう (丁寧なことばを 使う練習)
14 丁寧なことばを 使おう (丁寧なことばを 使う練習)	15 気持ちを切り替える 方法を知ろう (どんな時に嫌な 気持ちになる?)	16 気持ちを切り替える 方法を知ろう (どんな時に嫌な 気持ちになる?)	17 気持ちを切り替える 方法を知ろう (どんな時に嫌な 気持ちになる?)	18 気持ちを切り替える 方法を知ろう (どんな時に嫌な 気持ちになる?)	19 気持ちを切り替える 方法を知ろう (どんな時に嫌な 気持ちになる?)
21 気持ちを切り替える 方法を知ろう (どんな時に嫌な 気持ちになる?)	22 気持ちを切り替える 方法を知ろう (嫌な気持ちになっ た時の解決方法)	23 やす 休み (勤労感謝の日)	24 気持ちを切り替える 方法を知ろう (嫌な気持ちになっ た時の解決方法)	25 気持ちを切り替える 方法を知ろう (嫌な気持ちになっ た時の解決方法)	26 気持ちを切り替える 方法を知ろう (嫌な気持ちになっ た時の解決方法)
28 気持ちを切り替える 方法を知ろう (嫌な気持ちになっ た時の解決方法)	29 制作 (射的を作ろう)	30 気持ちを切り替える 方法を知ろう (嫌な気持ちになっ た時の解決方法)	※中学生の活動内容について 10/12(土)：わかりやすい伝え方を考えよう 10/26(土)：好きなものを紹介しよう		

★専門職の来所日は下記になります。

- ・公認心理師(松本)：2日(水)、5日(土)
- ・言語聴覚士(永山)：10日(木)、11日(金)、18日(金)
- ・理学療法士(樋口)：7日(月)～10日(木)

(今月の主な活動) 丁寧なことばを使う／気持ちを切り替える方法を知る

ねらい：さまざまな人や場面に合った丁寧なことばの使い方を知る

自分の思い通りにいかない時の気持ちを切り替える方法を知る

☆先生や異年齢の友だち、学校や家やお店等、さまざまな人や場面に合ったことばの使い方を考え、丁寧なことばの使い方を学んだり、実践したりします。

＜丁寧なことばを使おう＞

☆緊張したり、嫌なことがあったりした際など、さまざまな場面に応じた気持ちの切り替え方を学び、実践します。

＜気持ちを切り替える方法を知ろう＞

★お知らせとお願い★

- ・提出書類につきましては、保護者の方より職員へ直接お渡しください。
- ・社会福祉法人 落穂会のホームページ (<http://www.asahigaokagakuen.jp/>) におたよりを掲載していますので、ご確認ください。実績記録表について、これまで当日にご署名を頂いていましたが、請求書に同封するシステムに変更致しました。ご理解、ご協力の程、よろしくお願い致します。
- ・登園時間は、平日 16 時 20 分まで、土曜日（午前）10 時 20 分まで、（午後）13 時 50 分までをお願いします。
- ・お迎えは、平日 17 時 20 分～18 時の間、土曜日（午前）11 時 50 分～12 時 10 分の間、（午後）15 時 20 分～15 時 40 分の間でお願い致します。また、お迎えの際は引き継ぎ 20 分前に番号札を準備しますので、来所された順に取ってお待ちいただき、引き継ぎ開始時間になりましたらインターホンにてお知らせください。

【キャンセル待ちについて】

・キャンセル待ちの受け入れの連絡は、平日は当日の午前中まで、土曜日は前日までにトリアより連絡をさせていただきます。連絡がない場合は受け入れが難しい為、ご了承ください。

【欠席連絡について】

・平日は 16 時以降、土曜日（午前）当日 9 時 30 分以降、（午後）13 時以降の欠席連絡となりますと、おやつ代（¥60 / 日）をご負担頂きますので、ご了承ください。また、職員不在の際は、留守番電話にメッセージを残しておいてください。



皆さん、こんにちは。今年もあっという間に残すところあとわずかです。コロナ感染への対応も変化していますが、今度の冬は楽しいクリスマスやお正月の計画が立てられたらいいですね。

さて、今回はひらがなを覚えるために必要なことがらをいくつかお知らせしたいと思います。本来ひらがなは、特に教えなくても幼稚園・保育園の年長の秋頃から小学 1 年生の夏頃までにほとんどの子どもさんが読めるようになります。ただ最近では早期教育への意識の高まりから、4 歳くらいでもひらがなが読めないとの相談を受けることがあります。確かに文字を覚えることは大事なことです、その前に獲得しておくべきことがありますので注意が必要です。

子どもは 4 歳頃まではことば（単語）をひとまとまりでとらえていますので、ひらがなが読めるようになるためには、まずことばがいくつかの音のつながりからできていることに気づく必要があります。例えば「りんご」は「り」「ん」「ご」という 3 つの音からできており、最初が「り」真ん中が「ん」



最後が「ご」という順番に並んでいると知ることです。次に必要なのが形を正しく認識する力の発達です。「あ」と「お」、「め」と「ぬ」など似た形の文字がたくさんあり、それを区別して音と対応させる必要がありますので、形を区別する力が重要になります。複雑な形を区別する力には個人差も大きいものです。

子どもさんのこれらの能力の発達と文字への興味関心を大切にしながら、教える場合には、50 音の音は歌などを活用して耳から覚えてもらい、文字を覚える時には「りんごの“り”」などと意味と一緒に覚えたり、文字の形の特徴をことばにして（“くるりん”、“びゅーん”など）イメージしやすくしたりすると良いでしょう。私たちが子どもの頃に楽しんだ「じゃんけんぐりこ」は遊びながらことばを音に分解することに役立ちます。「書いて覚える」にはまだ指先や手の発達、両手を同時に使う能力（紙を非利き手で押さえて利き手で書く）、見比べる能力などが未熟ですので、十分に読めるようになってからでも良いと思います。ただ、どうしても音の区別や形の区別が難しい子どもさんもいますので、学習方法の工夫をしながら、文字だけにとらわれずに、知っていることばを増やす、会話や説明する力を伸ばすことを忘れないようにしたいものです。活動の中でも様々に取り組んでいますので、不安なことがありましたら、是非ご相談ください。

言語聴覚士 永山理香

